

忠類地域の 活性化対策を



問 合併後1年あまりを
経過した今日、先
議会において、町長は合併
後の行政運営について検証
し、行政効果や行政能力と
サービスの向上、さらに、

一体感の醸成等、新たなま
ちづくりが顕著に進められ
ていることを報告された。
一方、忠類地域の住民は
時間の経過とともに、合併
協議に基づく各種機関、団
体等の合併や、統合が進め
られたことにより、少しづ
つ一体感が実感され
つつある。

しかしこのような
具体的な地域の変化
の一方で、住民の心
の中には絶えず合併
前の地域の姿を、将
来とも維持できるか
という懸念のあるこ
とも当然である。

いま忠類地域には
町長の諮問をはじめ
各種検討事項や、意
思決定事項などをあ
つかう地域住民会議
や、協働のまちづく
り理念のもとで行政
依存から脱却し物心
両面にわたって取り
組む機運が高まりつ
つある。
町長はこのような
忠類地域に対し、当
面実現可能な活性化
対策と併せて、最近

愛好者も増加し、地域要望
の高い室内ゲートボール場
の設置と、忠類・幕別本町
との動脈ともいえる道々幕
別大樹線の整備について
も、考え方と対応について
伺いたい。

町長 当面する忠類地域
の活性化対策については、
総合計画の3カ年実施計画
に、基本的に合併前の旧忠
類村において計画された事
業を引き継ぎ、合併後新た
な事業も位置づけたところ
である。

忠類住民会議での提言を
踏まえ、道路改良・整備事
業や、高規格基準の救急車
と救急救命士の配置、新道
の駅の整備、忠類ナウマン
公園のパークゴルフ場の夜
間照明の整備、ナウマン太
鼓の和太鼓を更新し、郷土
の文化の振興を図るなど、
住民の皆さんとともに地域
づくりを進めたい。

酪農を希望する新規就農
者の優先的な紹介や、各種
会議の忠類地域での開催、
地域懇談会の開催など考え
ている。

室内ゲートボール場の設

置については、忠類地域に
おいて、特に60歳代の愛好
者が増加し、ゲートボール
が活発であると聞いてい
る。

冬期間忠類地域に施設が
ないことから、幕別地域の
室内ゲートボール場を利用
しているが、忠類地域にお
ける室内ゲートボール場の
設置は、「均衡ある発展、
あるいは一体感の醸成」の
促進、健康増進や定住促進
などの地域振興の観点から
3カ年実施計画を策定する
中で検討したい。

道々幕別大樹線の整備に
ついては、この路線は、町
内の重要な路線であり、こ
れまでも北海道に拡幅の
整備促進を要望してきた
が、合併により、さらに重
要度が増したと受け止め、
平成18年度から、用地測
量・設計などに着手し、平
成19年度には橋梁設計、用
地買収などを進め、その後
整備に入る予定となってい
る。

今後重要な路線として
早期の整備・促進を要望し
たい。



幕別地区の室内ゲートボール場

